

秋田市並に NPO法人に免税措置を

狐崎 捷琅 議員



質問 最近グリーンツーリズムとか、地産地消、などの言葉をよく耳にする。実際にこれらを立ちあげ、具体化する場合はNPO法人を立ち上げる場合が多い。

一方、このNPO法人の立ち上げがなかなか進まない背景には市民税の均等割部分の問題がある。

収入ある無しにかかわらず毎年五万円の税金を収めねばならない。秋田市のように免税措置の条例を作られないか。

市長 仙北市には現在NPO法人は五団体ある。NPO法人を作るということはその社会的価値が高まるなどの利点もあるが、当然義務も生ずる。

しかし、ご指摘のようなことがあり、NPO法人が伸び

ていけないのであれば私達仙北市としても検討すべき問題である。

質問 学校建築の際の教室の天井の高さの基準が三メートルから二メートル七十以上にしてもよいと建築基準法施行令が平成十七年十一月から改正された。

仙北市でも小学校建築が控えている。

今回の改正は天井の高さが三十センチ低くても良いということと冷暖房費が節約できるということと建設費が一、五%安くなるというメリットがある。

少しでも建設費を節約したいという仙北市にとっては好都合な法改正と思いい、仙北市の学校建築において天井の高さを二メートル七十にするこ

とが可能かどうか質問したい。

教督長 小学校は統合された場合三十五人学級が暫く続く。そうした場合心理的圧迫感がでると思う。それゆえ三

メートルの高さにしたい。

質問 飯に二十億で学校を建てたときには、三千万円が浮くし暖房費も安く済む。仙北市の財政を考えてのことである。

尚、文部科学省は、四十人学級のデーターである。

教督長 中間答申には、単に経費節減のためだけで二メートル七十にしない様にとも書いています。

それ故、現在は三メートルを考えている。

質問 国体のカヌー会場の進捗状況をお聞きしたい。

市長 カヌー競技については基本的にその競技の時期に合わせて工事を進めていく。

国体競技会場については、十九年の三月まで完成させたという方向で進めているのでご理解を賜りたい。

中学校の統合と 新庁舎の位置について

伊藤 邦彦 議員



質問 旧西木村には檜木内中、西明寺中の二校があるがいずれも生徒数の減少により様々な弊害が出ている。

二校の統合は平成二十二年頃を目指しているとの説明を受けてきたが、それでもどうにか百人を超える程度である。そこでその二校に神代中も一

緒に統合してはどうか。校舎は教育環境が素晴らしく三校の中央に位置する西明寺中に、生徒数二百五十名程度の仮称（仙北市北中）が誕生する。さらに新庁舎を統合で空いた神代中を当てたらどうか。

多くの優れた人材を育ててきた神代地区の皆さんの思い出多い学び舎をそのまま残して庁舎にすれば財政がことのほか厳しいなか巨費を投じて庁舎を建設する必要がないのではないか。



国体のカヌー会場予定地